

秋厚労ニュース

メール syukoro-kyosen@w3.dion.ne.jp

NO1813号

2017年12月18日

秋田県厚生連労働組合

秋田市山王5-4-2

TEL 018(864)3341

FAX 018(864)3349

昨年に続き

定年に関する学習会

秋厚労は、昨年から「定年に関する学習会」を行っています。講師は社会保険労務士・関徹彌さん。「雇用保険、年金、健康保険」について学びます。学習会を希望する支部は、本部まで連絡を。

支部が学習会を開催 するまでの流れ

- ① 支部で学習会を開催するかどうかの相談
- ② 開催する場合は、都合の良い日を2～3日挙げて支部から本部に連絡
- ③ 本部が講師と日程調整
- ④ 支部は病院内で会場の確保
- ⑤ 資料や講師に関する費用などは、本部負担

定年後の手続きを自分で行うために

定年は、「退職後の生活設計をどうするのか」を考える節目です。

「失業保険はいくらぐらい」「年金はいつから受給できるのか」「金額はどれくらいか」「必要な手続きは」など知りたいことがたくさんあります。

若いうちから

勉強すれば良かった

定年退職した先輩によれば、「自分が定年を迎えるにあたりわからないことが多すぎる」「もっと若いう

ちから勉強しておけばよかった」「雇用保険、年金などの情報を、仕事をしながら集めるのは一苦労。組合で学習会をやると助かる」と話していました。

定年に関する学習会は、そうした声を受けて昨年から取り組みはじめました。(4支部、延べ134名参加)

今までは病院が手続きしてくれた

今までは病院が

手続きしてくれた

講師の関徹彌先生は、社会保険労務士・行政書士

昨年度定年に関する学習会
感想アンケートより

参加して良かった 毎年開催してほしい

- ☆ 自分の事なのでもっと勉強しなくてはいけないと思いました
- ☆ 生活できるよう備えようと思った
- ☆ 難しかったが、わからないことだったので、ためになりました
- ☆ 退職後、手続きなど大変だと思いました
- ☆ 定年でやめたいが、今日の話を知るときびしろう
- ☆ 非常に良い企画だったと思います

事務所を開設しています。関先生は、「定年を迎える変化は、病院がやってくれていたすべての手続きを自分でやらなければいけない

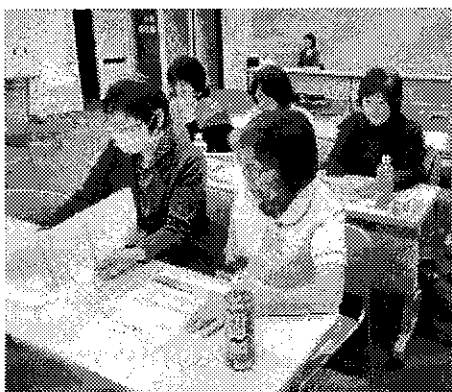
こと。そのためには、健康保険、雇用保険、年金、3つの仕組みを中心に学習することがポイント」と話していました。

ぜひ全支部で開催を

今年度は、11月17日に北秋支部からスタート。15名が参加し、「複雑な制度だけに難しい」や「健康に留意して定年までがんばります」など、感想を寄せて頂きました。

12月5日には、鹿角支部で16名が学び、終了後には、参加者が先生を囲んで、わからないところを質問していました。

定年後の生活資金に備えるためには、直前ではなく、



北秋支部の学習会

少し前からの準備が大切です。ぜひ、支部で「定年に関する学習会の開催」についてご検討下さい。